



## 広報便り

### 称名寺 消防総合訓練

第20-004

発行元：金沢消防団広報

発行日：2020年1月26日



## 「文化財防火デー」にあわせ消防総合訓練実施



第二分団、第四分団、  
第五分団による一斉放水

1月26日(日)金沢区金沢町「称名寺」で、「文化財防火デー」に先立ち、消防総合訓練が行われた。國原金沢区長、称名寺関係者、地域住民、県立金沢文庫の職員、金沢消防署、金沢消防団など約90名の参加となった。訓練は称名寺裏山で発生した火災が本堂へ燃え移ったという想定で実施され、称名寺職員が消火器で初期消火、地元住民は境内の阿字ヶ池から息が合ったバケツリレーとホースによる放水を行った。



称名寺職員が、金堂に収められた国指定重要文化財の弥勒菩薩などの模擬品を火がからまない場所に避難させた。消防車が出動し、その後、空にむかって、第二分団、第四分団、第七分団による一斉放水が実施された。



「金沢区は横浜市の中でも多くの文化財を抱えており、文化継承を担っている。地域住民、消防署、消防団で連携し、守っていかなくてはならない」と、伊藤署長、野本団長が、ご挨拶された。

